

まえがき

東京都健康安全研究センターは、都民の生命と健康を守るため、健康危機管理を科学的・技術的な面から支える中核的な機関です。感染症対策、食品衛生、医薬品や化学物質の安全確保、さらには環境保全まで、幅広い分野で試験検査や調査研究などに取り組み、科学的根拠に基づいて都民生活の安全と安心を支えています。

当センターは、地方衛生研究所に求められる基本的な機能である「試験検査」「調査研究」「研修」「公衆衛生情報の解析・提供」に、「監視指導」を加えた5つの機能を柱としています。これらの機能を通じて、感染症の監視・検査、食の安全の確保、生活環境に関する安全対策など、さまざまな課題に対応しています。また、現場を支える専門職に対する技術研修や人材育成にも取り組み、行政施策を専門的な知見から支えています。

近年、新興・再興感染症への対応、食品の安全性の確保、化学物質による健康影響への懸念など、都民の健康と安全を取り巻く課題は、ますます多様で複雑になっています。こうした中で、迅速かつ高度な試験検査体制を整えること、科学的知見に基づく調査研究を進めることに加え、行政検査や健康危機対応を担う専門職の技術力を高める実践的な研修を充実させること、そして分かりやすくて確かな情報発信を行うことの重要性は、いっそう高まっています。

令和7年度は、感染症分野において、新型コロナウイルス感染症を含む呼吸器感染症について、都内の感染状況を的確に把握するために必要な試験検査を新たに実施いたしました。また、他の分野におきましても、新たな危険ドラッグの評価に対応する検査体制の整備や、健康食品による健康被害の未然防止に資する有害物質探索手法の開発など、社会情勢の変化や新たな健康リスクに即応した取組を進めてまいりました。

当センターは、今後とも関係機関と緊密に連携しながら、高い専門性と技術力を生かし、健康危機管理体制のさらなる充実と、都民の安全・安心につながる的確な情報提供に努めてまいります。

本事業概要は、令和7年度の当センターの事業実績や研究成果等をまとめたものです。関係者の皆様にご活用いただければ幸いです。

令和8年9月

東京都健康安全研究センター
所長 成田 友代